

平成28年8月3日

岩出市教育委員会 様

岩出市教育委員会評価委員会  
委員長 富永茂郎

平成27年度教育委員会事務事業評価に関する意見書の提出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、私たち評価委員は教育委員会の委嘱を受け、平成28年7月13日及び平成28年8月3日の2回にわたり評価委員会を開催しました。

評価対象事業は、第2次岩出市長期総合計画の「活力あふれるまち ふれあいのまち」に位置づけられ、教育委員会が作成した平成27年度36事業の内容及び評価について事務局へ質疑応答を行い、その結果を踏まえ意見を取りまとめました。

自己評価は、一部を除きほぼ「期待どおり」とされており、総合評価として課題や今後の対応並びに市教育委員会の方向性等が示されています。なお、「やや下回る」及び「期待以下」と自己評価されている計5事業については、来年度、改善に向けた取組を求めるものであります。

教育総務課では、まずは、「小・中学校施設改修事業」等の実施により、児童・生徒の安全・安心な学習環境を確保し、その上で、「確かな学力の育成のための実践研究事業」、「紀の国緑育推進事業」、「いわでアスリートクラブ事業」等を実施することにより、「確かな学力・豊かな心・たくましい体」のバランスのとれた児童・生徒の育成を図ろうと努めていることがわかります。

今後も引き続き、知・徳・体のバランスのとれた児童・生徒の育成に努めていただきたいと思います。

生涯学習課では、刑法犯認知件数の多い本市の状況を鑑み、関係機関と連携しながら青少年の健全育成に重点を置かれていることがわかります。さらに、「放課後子ども教室推進事業」や「公民館事業」等、子どもからお年寄りまで幅広い層を対象とした諸事業を実施され、生涯学習の推進と振興に努められています。また、「市民運動会」や「岩出マラソン大会」の開催、スポーツ少年団等に対する助成などを通じ、生涯スポーツの推進にも努めています。

今後も、市民の皆様のニーズを的確に把握し、そのニーズに合った事業を展開されるよう期待します。

岩出図書館では、「図書館司書派遣事業」を中心に学校との連携を強力に推し進め、子どもの読書活動の充実に努めています。

読書活動の推進は、読解力の向上に繋がるだけでなく、豊かな心を育むことや学力の向上にも大きく寄与します。今後もより一層学校と連携し、児童・生徒の読書の活性化を図っていただきたいと考えます。

民俗資料館では、根来寺をはじめ地域の歴史や文化を伝えるための様々な取組を実施しています。京奈和自動車道「岩出根来インターチェンジ」の開通や、「旧和歌山県議会議事堂（一乗閣）」及び「ねごろ歴史資料館」のオープンに伴い、前述のような民俗資料館本来の役割の他に、岩出市観光の拠点という役割を果たすことが求められています。こういったことから、今後は、多くの観光客誘致も視野に入れた民俗資料館の運営を期待します。

前述のとおり、岩出市教育委員会では、2課2館が連携しながら、子どもの健やかな成長、生涯学習社会の実現を目指して諸施策を実施されていますが、それぞれの事業の評価について、数値目標を定めその達成状況を評価するなど、より客観的な評価とするための評価のあり方を今後研究していく必要があります。そうすることにより、評価の結果が来年度以降のさらなる教育行政の充実・発展につながると考えます。

平成27年8月に、市民プールで幼児の溺水事故が発生しました。私たち評価委員は、この事故を受け、昨年度の本意見書の中で、教育委員会が一丸となって再発防止に取り組まれるよう強く要望してきたところであります。

今年度の評価委員会において、教育委員会では、この事故を検証し、必要な工事施工や安全管理体制の再構築を行うとともに、平成28年度の市民プールの運営は、新しいマニュアルに基づき全庁体制で当たるなど、事故の再発防止に努めているとの報告を受けております。

なお、個別の事務事業についての主な意見は、以下のとおりです。

## 教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分	主 な 意 見	
豊かな学力の育成と体力の向上	適応指導教室事業	適応指導教室事業については、入室者の割合が不登校児童生徒全体の一部になっていることから、適応指導教室について周知方法を工夫する必要がある。また、適応指導教室の環境について、児童生徒が安心してゆったりと過ごせるよう、教室の移転を含め改善策を検討されたい。
	確かな学力育成のための実践研究事業	確かな学力育成のための実践研究事業を新たな事業に見直すということであるが、本事業により教員の資質向上が図られてきた。新事業に移行し、さらなる教員の資質向上に努められたい。
安全・安心な教育環境の整備・充実	小・中学校施設改修事業	小中学校施設改修事業について、学校の耐震化工事は既に完了しているが、大震災が起こった場合には学校が避難所となるため、熊本地震を教訓に、学校の避難所としての機能について再度検討されたい。
	小・中学校教材教具等の整備事業	児童生徒の学力向上には、教材・教具の整備充実は不可欠である。引き続き整備充実に努められたい。
安全・安心な学校給食の充実と徴収率の向上	学校給食運営事業	学校給食の適正な運営と、保護者負担の公平性の観点から、給食費の完全徴収は重要である。特に現年度の完全徴収の強化に努められたい。
青少年の健全育成	青少年育成事業	各地区で実施されているあいさつ運動や見守り活動は、犯罪の抑止に一定の効果をあげている。子どもが少なくなっている地域では、植木の水やりや庭先の掃除など屋外での活動を、児童生徒の登下校時に合わせて行っていただくよう呼びかけてみてはどうか。
生涯学習の推進	公民館事業	公民館事業では各種の教室や活動が行われているが、常に住民ニーズの把握に努め、より多くの市民が参加できるよう引き続き努められたい。
	市民運動会事業 岩出マラソン大会実行委員会助成事業	生涯学習課は、毎年、市民運動会や、マラソン大会など、市あげての大イベントを実施しているが、特に平成28年度は岩出市誕生10周年を記念する事業となるため、記念事業にふさわしい内容を工夫されたい。
文化・芸術の振興	文化祭事業	文化祭についても、平成28年度は、岩出市誕生10周年記念事業にふさわしい内容を工夫されたい。
人権尊重の推進	人権啓発事業	人権教育・啓発の推進は、重要な市の役割である。今後も、庁内の関係部署はもとより、様々な関係機関と連携しながら充実に努められたい。

## 教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分		主な意見
子ども読書活動推進事業	家族ふれあい読書推進事業	家族ふれあい読書推進事業について、うちどくノートの活用促進のため様々な工夫を凝らしているが、学校や学年によって活用の温度差が見られるため、内容を見直す時期にきているかもしれない。そういった観点も含みながら学校との協議を充実されたい。
図書館運営事業	図書館利用促進事業	様々な工夫を凝らすことにより館者数や貸出人数の増加につながっており、すばらしい取組である。 駅前ライブラリーや中央公民館の利用者増につなげるため、岩出図書館本館で借りた図書であっても、他の分館・分室で返却できることをもっとPRしてはどうか。
図書等購入事業	図書等購入事業	当初の目標である平成33年度の蔵書数30万冊達成に向け、引き続き計画的な図書購入に努められたい。
文化・芸術の振興	民俗資料館資料収集事業	民具等の収集は、小学校社会科との関連が強いため、引き続き収集に努めるとともに、学校教育支援の充実に努められたい。
	民俗資料館展観事業	平成28年4月に、新たにねごろ歴史資料館と旧和歌山県議会議事堂（一乗閣）がオープンした。この両施設及び根来寺と常に連携し、本市の観光振興という観点からの運営も工夫していく必要がある。